

◎新・人間革命 大道の章

「苦楽ともに唱題し抜く。その弛みなき精進のなかに、持続の信心のなかに、宿命の転換も、人間革命もあるんです。`題目を唱えることが、楽しくて、嬉しくてしょうがない、と実感できるようになれば本物です」

(『新・人間革命』第28巻169ページ)

◎人間革命の宗教

大切なのは、過去を振り返り悔いることでなく、今ここから未来に向かって力強く建設を開始することです。

現実の人生には、勝つ時もあれば負ける時もあるでしょう。たとえ、どんなに口惜しい試練があっても、信仰が敗れなければ、必ず、必ず、未来の大勝利の因を刻んでいるのです。

(『人間革命の宗教』328ページ)